

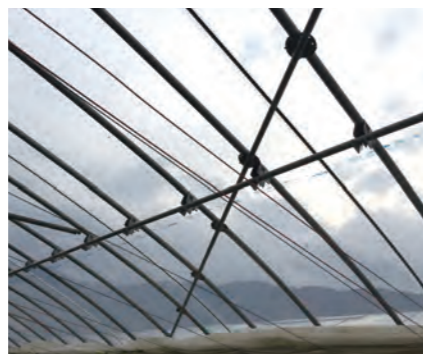
# クリンテートFXUV(0.15mm厚)の効果確認試験

JA新はこだて

中坂 宏道



試験ハウスの外観(10月27日撮影)



試験ハウス内(10月27日撮影)



試験ハウス内(10月27日撮影)

## 試験目的

クリンテートFXUV(0.15mm厚)の効果確認試験

## 試験作物 及び品種

大根、トマト(桃太郎ファイト)

## 試験資材 及び数量(規格)

クリンテートFXUV(0.1mm×420cm×52m) 2枚

## 慣行資材

テキナシ5、テキナシ5UV、カゲナシ5UV

## 栽培方法

播種日	収穫日
大根 3月下旬	大根 5月下旬
トマト定植日 抑制:7月上旬	トマト 抑制:8月下旬~11月下旬
促成:H28年1月中旬予定	促成:H28年4月上旬~6月下旬予定
【栽植密度】 畝幅:80cm	株間:40cm 7列

## 資材使用期間

H26年10月下旬~  
(通年展張)

## 試験区面積

100坪

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

フィルムの硬さはテキナシ5とほぼ変わらないが、カゲナシ5UVよりは硬く感じた。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育・収量ともに慣行品と大きな違いは見られなかった。

### (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

透明度・流滴性・強度ともにここまでは慣行品と違いは感じない。

### (4)保温効果について

慣行品と違いは感じない。

### (5)雑草・病害虫の発生について

慣行の紫外線カットフィルムと違いは感じない。

## モニター感想

現時点では慣行品と大きな違いは感じられず、問題なく使用できている。

問題なければ少しでも安価な方が良いので、来年以降の状態についても比較していきたい。

フィルムは通常5年を目処に更新しており、今後も更新は毎年のように控えているため、しっかり吟味して選んでいきたい。

## JA担当者の感想(森支店生産資材課 西畑係長)

他の長期展張タイプと比べても大きな違いはないように感じられた。

長期展張タイプとさほど変わらずに使用できれば、安価な方が営農コスト低減につながるため、来年以降も継続してフィルムの状態を確認して、良ければ生産者に紹介していきたい。

施設園芸が盛んな地区でもあるので、他にも何か良い資材があれば積極的に試験を実施して、この地区のニーズに合った資材を生産者に提案・推進していきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

2年目以降の状態についても継続して確認・比較していきたい。

## 将来希望する資材について

省力化につながる資材があれば良い。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 クリンテート

4 機能性マルチ

5 育苗資材

6 酪農資材

7 省力化資材

8 その他